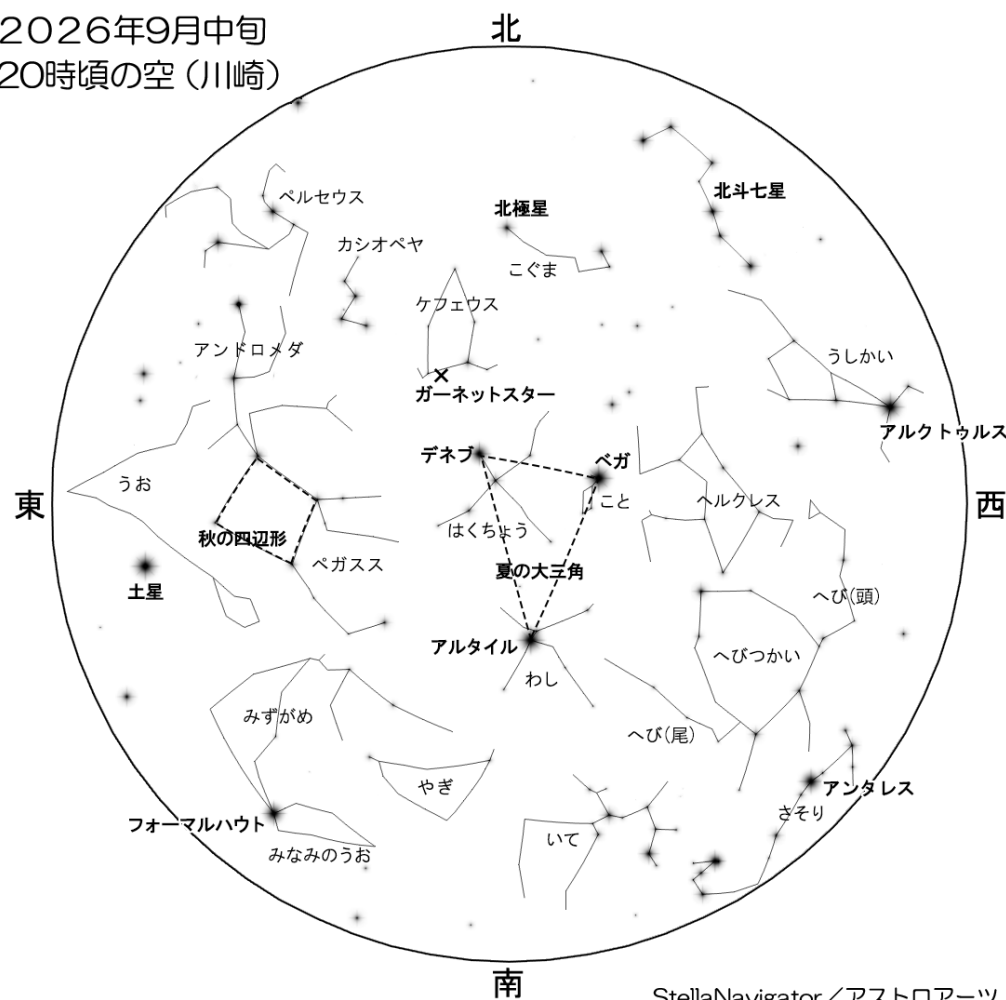


星を見るタベ

2026年9月19日(土)

*このリーフレットは科学館天文サポーターの協力により作成しています。

2026年9月中旬
20時頃の空(川崎)



StellaNavigator/アストロアーツ

2026年9月の星空

9月も中旬となりましたが、まだ夏の星座が主役です。天頂付近には、はくちょう座のデネブ、こと座のベガ(織姫星)、わし座のアルタイル(彦星)が輝き、この3つの一等星を結んだ三角形を夏の**大三角**といいます。

東の空からは、ペガサス座の胴体にあたる秋の**四辺形**も昇ってきています。南東の低いところには秋の一つ星、みなみのうお座の**フォーマルハウト**、東の空に見える明るい星は、地球の兄弟星の**土星**です。

25日は**中秋の名月**です。日没後空を見上げ、十五夜の月やこの時期に見える星を楽しんでみてはいかがでしょうか。

これからの天体現象

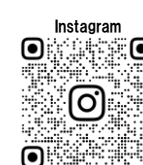
●注目現象

- 9月 23日 秋分(太陽黄経 180°)
- 25日 中秋の名月(十五夜 旧暦 8月 15日の月)
- 10月 5日 土星が衝 一晩中見やすく、観望の好機
- 12日 水星が東方最大離角 日の入り後 西の空で見つけやすい
- 23日 後の月(十三夜 旧暦 9月 13日の月)

●月の満ち欠け

9月	19日	上弦	10月	3日	下弦
	27日	満月		11日	新月
				19日	上弦

最新の科学館の情報は
ホームページ・SNSを
ご確認ください。



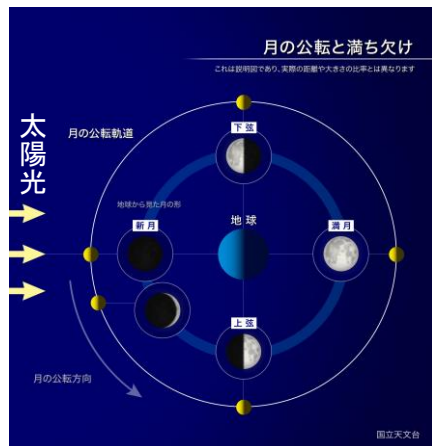
2026 年 9 月の観望天体（予定）

【月】

月は地球をまわる衛星で、太陽の光を反射して明るく見えます。

新月は太陽と同じ側にあるため、見るできません。満月は太陽の反対側ですから、一晩中見頃です。

今日は上弦の月。これから満ちていく月で、新月と満月のちょうど間ですから、お昼間に昇って真夜中に沈みます。宵の頃が見頃です。



【ガーネットスター】

望遠鏡を向けると深紅の輝きを見せてくれるケフェウス座 μ 星は、宝石の「ガーネット」のような色をしていることから、「ガーネットスター」の通称で知られています。赤色超巨星の仲間で、巨大すぎるため、表面温度はわずか 2000 度しかありません。星自体の大きさが収縮・膨張することで明るさを変える脈動変光星で、約 730 日の周期で 3.4 等から 5.1 等で明るさが変わります。

トピック【月】

月の中にいるのは誰？

みなさんは、丸いお月様の模様が何に見えるでしょうか？

よく言われるのが「餅つきしているウサギ」。でも「カニがはさみを振り上げている」と見る人たちもいます。南米に行くと「ワニ」に見えたり、「ロバ」や「ライオンが吠えて」いたり、「帽子を被ったおばあさんが本を読んで」いたり……。

とらえ方の違いが生まれるのは、見る場所や時間によって、月の向きや傾きが変わるためでもあるのですが、それぞれの土地の人々の環境や生活とも密接な関係があるようです。例えば中国の月に住むウサギは、餅つきではなく、「薬草を挽いている」のだそうです。漢方薬を作っているんですね！

いろいろな場所の人々の月に対する思いを知っていくと、世界中の人と仲良くなれるような気がしませんか？

「こんなよい月をひとりでみて寝る」

これは心に浮かんだまを詠む自由律で活躍した尾崎放哉^{おざきほうさい}の句です。

月を見て眠った放哉は、どんな気持ちだったのでしょうか？一人で寂しかったのか？あるいは月の微笑みを独り占めして満足したのか？

…………… 今夜の月に、あなたも一句作ってみませんか。

ぷりんのひとことメモ



みんなは「北極星」って見たことある？北の目印になる星なんだ。

実はね、北極星は他の暗い2つの星と一緒に、互いの重力で引き合う「3連星」のチームなんだよ！

目では一つにしか見えないけれど、仲間がいるんだって。ふしぎだね！

次回は

10月24日（土）月・土星

受付時間：17:45～18:00（10月から受付時間が変わります。ご注意ください。）

先着順で整理券を配布します。

プラネタリウムでの解説の後、番号順にアストロテラスへ案内し、望遠鏡で観察していただきます。

※雨天・曇天等観察が難しいと予想される場合は中止。

（開催の有無は、当日 15 時に当館 HP・X でお知らせします。）

